

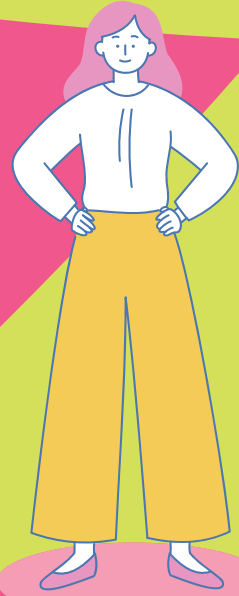


▲ネット署名
はこちらから

最低賃金 1500円 ただちに

さらに 2000円へ (時給)

引き上げAction



フツのくらし
2000円

最低賃金
1122円

最低賃金の引き上げは、非正規で働く人だけの問題ではありません。最低賃金が上がれば、その水準が土台となり、正社員を含むすべての労働者の賃金底上げにつながります。最低賃金から賃上げの流れをつくり、誰もが安心して暮らせる社会を実現しましょう。

フツのくらし=最低生計費

京都では 時給 2000円 月 30万円必要

京都総評が2025年版の最低生計費を調査した結果、京都で一人暮らしをする20代が「普通に暮らす」ためには、時給1900円以上、月額28万円以上が必要だと分かりました。その後も物価は上がり、各地の調査では時給2000円に到達しています。私たちは「誰でもどこでも2000円」の実現を目指しています。

食費	57,944
居住・水光熱費	55,063
家具・家事用品・被服・履物	19,683
交通・通信	16,975
教養・娯楽	25,693
医療保険・その他	30,340
税・社会保険料	58,005
予備費	20,500
合計	284,202
月額(150時間換算)	1,895
年額	3,410,426

京都市北区25歳単身世帯/男性
京都総評「京都生活実態調査結果
2025年版」より

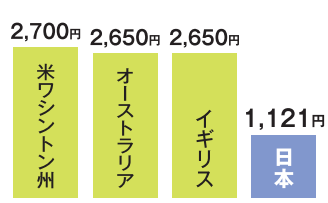
今すぐ最低賃金 時給1500円の実現を

政府は2020年代中に、最低賃金を時給1500円にするに掲げていました。高市首相も「この5年でたゆまぬ努力を続ける」と述べていますが、具体的でスピード感ある実行が求められます。

最低賃金引き上げのための 中小企業支援を

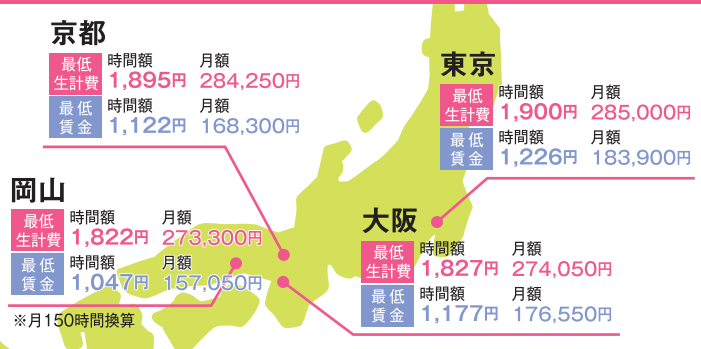
最低賃金を大きく引き上げるには、中小企業への直接支援が欠かせません。社会保険料の事業主負担を軽減し、原材料や人件費の上昇分を適正に価格へ転嫁できるよう、国や自治体がしっかり支援することで、賃上げが広がり、地域の経済も元気になります。

最低賃金の国際比較



全国どこでも変わらないのに
地域でこんなに違う最低賃金

いまこそ“全国一律”の最賃制度が必要



京都総評
(京都地方労働組合総評議会)

京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階
TEL:075-801-2308 FAX:075-812-4149 E-mail:sohyo@labor.or.jp

